

2025. 1.16

報道関係者 各位

<配信枚数 2 枚>

【立命館土曜講座のご案内】

■2025 年 2 月テーマ■

「激動の中で迎える日韓 60 年」

「唯一性と応答性-自然と文化の現象学」

開催日程 : 2025 年 2 月 8 日 (土)・15 日 (土)

2025 年 2 月の立命館土曜講座は、立命館大学東アジア平和協力研究センターの企画として「激動の中で迎える日韓 60 年」、立命館大学間文化現象学研究センターの企画として「唯一性と応答性-自然と文化の現象学」をテーマに開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■2 月テーマ「激動の中で迎える日韓 60 年」

激動の中で迎える日韓 60 年~~国際情勢と 2 国間関係の歴史~~

日時 : 2025 年 2 月 8 日 (土) 10:00~11:30

開催方法 : ハイブリッド講座 (末川記念会館+Zoom ウェビナー)

■2 月テーマ「唯一性と応答性-自然と文化の現象学」

唯一性と応答性-自然と文化の現象学

日時 : 2025 年 2 月 15 日 (土) 10:00~11:30

開催方法 : ハイブリッド講座 (末川記念会館+Zoom ウェビナー)

開催方法 : ハイブリッド講座 (対面・Zoom ウェビナー)

内 容 : 別紙参照

聴 講 料 : 無料

定 員 : 末川記念会館 180 人、Zoom ウェビナー400 人

※実施前日 12:00 までに要事前申込。定員に達し次第、申込受付を終了。

申込方法 : 立命館土曜講座の WEB サイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumeikan.ac.jp/doyo/>

主 催 : 立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他 : 文字通訳の配信を予定しています。

以上

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当:武田・堀

TEL.075-465-8224

別 紙

■立命館土曜講座 2 月テーマ

「激動の中で迎える日韓 60 年」

激動の中で迎える日韓 60 年～～国際情勢と 2 国間関係の歴史～～

日時：2025 年 2 月 8 日(土) 10:00～11:30

講師：毎日新聞 論説委員/立命館大学東アジア平和協力研究センター 客員研究員 澤田 克己
講師による内容紹介：

大統領が「上からのクーデター」を企てた 45 年ぶりの戒厳令で、韓国政治は大混乱に陥りました。日韓関係にも大きな影響が出ると懸念される中、両国は国交正常化から 60 年の節目となる 2025 年を迎えることになりました。今後の情勢が不透明であるからこそ、これまで両国がどんな関係を築いてきたかを振り返ってみたいと思います。

60 年間の変化で最も大きいのは、世界最貧国の一つだった韓国の経済成長によって対等な関係が実現したことです。国民同士の交流が進みましたが、一方で近年は歴史認識問題による外交関係の悪化が深刻化しました。

こうした変化を考える際に大切なのは、世界に目を向けることです。日韓関係には、国際情勢が大きな影響を与えてきました。東西冷戦下では日米が西側陣営の「橋頭堡」である韓国を支えましたが、冷戦終結によって情勢は大きく変化します。そして歴史認識問題が日韓関係を揺るがし始めましたが、実はこの時期には、歴史認識の紛争化が世界各地で起きているのです。それは、なぜでしょうか。国際情勢を視野に入れて「60 年」を振り返り、これからの日韓関係を考えていきたいと思います。

■立命館土曜講座 2 月テーマ

「唯一性と応答性-自然と文化の現象学」

唯一性と応答性-自然と文化の現象学

日時：2025 年 2 月 15 日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学 文学部 名誉教授・特任教授 谷 徹

講師による内容紹介：

「現象学」の名で呼ばれる哲学運動は 20 世紀以後、ヨーロッパ哲学のひとつの軸になりました。フッサール、ハイデガー、サルトル、メルロ＝ポンティ、デリダ、レヴィナスなどの名を思い浮かべていただいいてよいでしょう。本学客員教授でもあった木村敏らの日本人の名も同様です。そして、世界各地の研究拠点と並んで、立命館大学にも「間文化現象学研究センター」が創設され、互いに連携して研究を進めています。

その現象学の基本原理を解説し、さらに、それが「間文化性」という問題に取り組むようになった経緯を示し、それが「この今」の人間——「唯一性」と「応答性」という構造をもつ身体的かつ言語的な人間——の問題に深く関わっていることを話したいと思います。

■立命館土曜講座

1946 年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEB サイト> <https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>